

北海道新幹線開業戦略推進会議 平成27年度第2回交通戦略部会 次 第

日 時 平成27年7月29日(水) 13:30～

場 所 かでる2・7 1070会議室

1 開 会

2 議 事

- (1) 道予算事業の取組状況
- (2) 整備指針に沿った検討・取組状況
- (3) 構成機関における取組状況(情報提供等)
 - ①木古内町
 - ②渡島総合振興局
 - ③JR北海道
 - ④NEXCO東日本北海道支社
 - ⑤その他
- (4) 開業当初の特別体制について

3 その他

4 閉 会

【配布資料】

- 〔資料1〕 道予算事業の取組状況
- 〔資料2〕 整備指針に沿った検討・取組の状況
- 〔資料3〕 構成機関における取組状況
- 〔資料4〕 交通アクセスチーム(仮称)の設置について

北海道新幹線開業戦略推進会議 平成27年度第2回交通戦略部会 出席者名簿

団体・機関等	出席者(敬称略)	備考
北海道	総合政策部交通政策局交通企画課 交通ネットワーク担当課長	千葉 繁 座長
北海道商工会議所連合会	政策・企画部 部長代理	福井 邦幸
北海道経済連合会	地域政策グループ 次長	三浦 晶代
(公社)北海道観光振興機構	事業企画推進部総括G 担当部長	野口 和弘
	新幹線プロモーションG 次長	生川 幸伸 随 行
北海道旅客鉄道(株)	鉄道事業本部 企画室長	戸川 達雄
	鉄道事業本部企画室 副課長	斎 直規 随 行
札幌エアラインズ アソシエーション	事務局	高田 泰宏 代 理
北海道旅客船協会	専務理事	市村 英次
(一社)北海道バス協会	事務局次長	渡辺 隆之
(一社)北海道ハイヤー協会	専務理事	照井 幸一
北海道地区レンタカー協会連合会	会長	佐藤 譲
東日本高速道路(株)北海道支社	総合企画課長	布橋 美樹男
道南いさりび鉄道株式会社	営業課長	勝又 康郎
経済産業省北海道経済産業局	地域経済部情報・サービス政策課 課長補佐	佐々木 啓孝 代 理
国土交通省北海道開発局	開発計画課 地域連携専門官	中村 浩
	道路計画課 道路計画専門官	千秋 雅信 随 行
	開発調整課 事業連携専門官	筒井 紀行 随 行
国土交通省北海道運輸局	交通政策部 計画調整官	藤田 雅博 代 理
	交通政策部交通企画課 課長補佐	杉澤 武則 随 行
札幌市	新幹線推進担当課長	木村 顕一郎
	新幹線推進室 推進担当係長	植木 広行 随 行
函館市	新幹線対策室次長	中村 勇人
木古内町	まちづくり新幹線課 新幹線振興室長	丹野 正樹
七飯町	総務部 政策推進課長	杉原 太
北海道新幹線建設促進道南地方期成会	事務局 次長	谷内 眞
	事務局 次長	水島 敦
北海道新幹線新函館開業対策推進機構	マネージャー	竹村 和人 代 理
胆振総合振興局	地域政策部地域政策課 主査	井溪 雅晴
北海道総合政策部交通政策局	交通企画課交通ネットワークG 主幹	曾根 宏之
	交通企画課交通ネットワークG 主査	佐藤 寿志
	交通企画課交通ネットワークG 主査	菅原 伸一
	交通企画課交通ネットワークG 主任	宮腰 和明

北海道新幹線開業に向けた道内交通ネットワークの充実に関する
平成27年度 道予算事業の取組状況

《平成27年度②定補正予算措置》

1 レンタカーによる道内周遊促進事業（委託） 19,566千円

【事業概要】

- レンタカーを活用した道内周遊の魅力を道外を中心に広くPRするとともに、道内市町村や民間団体と連携しながら、モデルルートやガイドブックを作成するほか、これらを活用しながら、新幹線利用者の広域周遊を促進するためのスタンプラリーを実施する。

2 道内乗継便を活用した旅行商品造成支援事業（補助） 4,500千円

【事業概要】

- 道内航空路線を活用した乗り継ぎによる旅行商品を造成する旅行会社に対し、商品造成に係る宣伝費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。

3 地域情報発信列車運行支援事業（補助） 35,000千円

【事業概要】

- 「道南いさりび鉄道」が行う食、観光、文化など道南の地域資源をPRする列車の整備に対し、必要な支援を行う。（10/10補助）

《平成26年度⑤定補正予算措置》

4 二次交通等整備事業（委託） 29,163千円

【事業概要】

- 新幹線駅等からの陸上交通ネットワークについて、路線の開設・再編等を視野に入れて、バス路線の検討や鉄道駅などの交通拠点と観光施設との交通ネットワークの強化を図るために地域関係者が主体となって実施する運行体系の検証や路線の需要動向の把握、実証運行などについて、専門家の協力も得ながら検討・取組を支援する。

【取組状況】

- 下記の取組について、実証運行等を通じて事業化に向けた取組を支援。
※契約期間：平成27年6月～平成28年1月
- ①渡島地域におけるタクシー交通整備事業
 - ・環駒ヶ岳地域における観光タクシーの運行（8月中旬～10月中旬に実証運行を予定）
 - ・新幹線駅からの定額タクシーの運行に向けた検討（先行事例等を調査中）
- ②後志地域における二次交通等整備事業
 - ・函館～倶知安間のバスの運行（9月上旬～10月中旬の土日祝日に実証運行を予定）
 - ・観光タクシーの運行（9月中旬～10月下旬の試験運行を計画中）
- ③空知地域における二次交通等整備事業
 - ・特急列車停車駅を起点としたバスやタクシーによる周遊ルートの造成に向けた検討

5 道内交通の魅力づくり人材育成事業（委託） 7,789千円

【事業概要】

- 観光施策と連携した魅力ある交通機関の創出可能性について調査を実施する。

【取組状況】

- 全国の取組事例を整理し、実施主体へのアンケート調査や現地でのヒアリング調査を実施。函館地区における観光客等へのアンケート調査結果なども踏まえ、道内関係主体が取り組む場合の参考資料を取りまとめ予定。※契約期間：平成27年3月～平成27年10月

6 道内航空路線需要調査事業（委託）

16,418千円

【事業概要】

- 函館から道東、道北地域への航空路線の開設に向け、道東、道北地域の地域資源を活用したモデルプランを作成するとともに、航空会社や旅行会社に路線開設の可能性を検討してもらうためのモニターツアーを実施する。

【取組状況】

- 下記の取組を実施。※契約期間：平成27年6月～平成28年1月
（主な業務内容）
 - ①モデルプランの作成
関係自治体や空港利用促進団体等へのヒアリングを踏まえ、関東、東北からの観光客向けに道東5空港・道北2空港のいずれかを起点とした宿泊付きのモデルプランを作成。
 - ②モニターツアーの実施
航空会社、旅行会社等を対象とした函館から道東、道北地域へのモニターツアーを実施し、参加者へのアンケート調査等により就航に際しての課題等を検証。

7 道内航空路線開設支援事業（補助）

25,180千円

【事業概要】

- 函館空港と道内空港間を結ぶ路線を就航する航空会社に対し、設備等の整備に要する経費及び運航する路線のPR並びに地上支援業務等に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付。

【取組状況】

- 4月に補助金交付要綱を定め、申請を受付中。

8 交通ネットワーク連携強化事業（委託）

19,464千円

【事業概要】

- 新幹線開業効果の全道波及に向けた新幹線駅等からの交通ネットワークに関する情報発信機能を整備するため、先進事例の課題等の調査や道内の交通ネットワークの整備状況などを踏まえ、HPやマップの作成を行う。

【取組状況】

- 交通情報と観光情報を一体的に情報発信するため、（公社）北海道観光振興機構との連携手法やホームページの技術的な仕様などについて協議中。
※契約期間：平成27年8月～平成28年3月（予定）

9 津軽海峡交流圏フリーパス事業（委託）

5,057千円

【事業概要】

- 道南及び青森県の周遊を促進するため、道、青森県、関係市町等による協議を踏まえ、既存のフリーパスの一体的な販売戦略の検討、PR資材の制作を行い、効果的なプロモーションを展開する。

【取組状況】

- PR資材制作やプロモーション活動の展開を予定。（秋頃に受託者を決定予定）
※契約期間：平成27年11月～平成28年3月（予定）

北海道新幹線開業に向けた道内交通ネットワーク整備指針に沿った検討・取組の状況

平成 27 年 7 月現在

① 移動環境の整備

【道南エリア】

※ゴシックは3月からの更新箇所

検討・取組の方向性	検 討 ・ 取 組 状 況 等	関係主体
【鉄道】		
新函館北斗駅と函館駅を結ぶアクセス列車（はこだてライナー）の整備	<p>○新函館北斗駅一渡島大野間の電化工事を実施中であり、平成 27 年度の新幹線開業前の完成を予定。</p> <p>○新函館北斗駅は、新たに在来線駅舎を建設し、新幹線とアクセス列車とを同一平面で乗り継ぎできるよう、新幹線ホームと同一の高さで在来線ホームを整備中。</p> <p>○使用車両は、所要時間の短縮や使いやすさなどを考慮し、高性能電車（733 系 1000 代）を 4 編成（12 両）制作しており、平成 27 年秋頃の完成を予定。</p> <p>○アクセス列車の愛称を公募により「はこだてライナー」と決定（平成 27 年 2 月）</p> <p>○停車駅、運行本数、接続時間など具体的な輸送体系は、現在検討中。新幹線に接続するダイヤを検討していく。</p> <p>○開業時など極端に混雑する場合の対応として、ホームの 6 両化を検討中。</p>	J R 北海道
新函館北斗駅と道央方面を結ぶ特急列車の利便性向上	<p>○新函館北斗駅は、新たに在来線駅舎を建設し、新幹線と在来線特急列車とを同一平面で乗り継ぎできるよう、新幹線ホームと同一の高さで在来線ホームを整備中。</p> <p>○特急「スーパー北斗」「北斗」の具体的な輸送体系は、現在検討中。新幹線の運行体系に合わせ、接続の利便性を確保していく。</p>	J R 北海道
新函館北斗駅からの在来線普通列車の利便性確保	<p>○具体的な輸送体系は、現在検討中。アクセス列車や特急「スーパー北斗」「北斗」の利便性確保と併せて、普通列車の利便性を確保していく。</p>	J R 北海道
木古内駅と五稜郭駅を結ぶ道南いさりび鉄道の利便性確保	<p>○事業開始に向け、鉄道事業の許可を取得（H27.6月）。8月に本社を函館市内に移転し、開業準備を本格化させる予定。</p>	道南いさりび鉄道
	<p>○経営計画に基づき、全列車の J R 函館駅への乗り入れや新幹線・特急列車との乗継利便性等の確保などを実施。</p>	道南いさりび鉄道
	<p>○道南いさりび鉄道が行う食、観光、文化など道南の地域資源を P R する列車の整備に対し、道が支援を実施。（H27）</p>	道（道南いさりび鉄道）
【バス】		
路線バスを活用した道南地域におけるバスネットワークの整備	<p>○既存の路線バスを活用した各方面への二次交通を整備。</p> <p>○新函館北斗駅付近を運行する既存路線（大野線、七飯線）の各系統便を新駅に乗り入れる。</p>	函館バス
	<p>○檜山地域から新函館北斗駅へのアクセスとして、函館江差線及び快速瀬棚号を新駅に乗り入れる。</p> <p>○新函館北斗駅から大沼公園、鹿部町方面へのアクセスとして大沼鹿部線を新駅に乗り入れる。</p> <p>○ J R はこだてライナーの発着に合わせて函館駅から湯の川温泉街への快速バスを運行。</p> <p>○新幹線ダイヤに合わせて新函館北斗駅から美原方面への連絡バスを新設。</p>	函館バス
	<p>○新函館北斗駅から大沼をつなぐ路線バスの運行を検討中。</p>	大沼交通
	<p>○函館市内の路線バスは、ゾーンバスシステムを中心とした効率的な交通ネットワークの実現に向けた公共交通の再編や交通結節点の整備について検討中。</p>	函館市
	<p>○新函館北斗駅と函館市内（五稜郭・湯の川・函館空港）を結ぶ路線バスを検討中。</p>	北都交通
	<p>○新函館北斗駅と函館空港間の運行計画を検討中。</p>	函館タクシー
	<p>○既に運行している函館一札幌間の都市間バスを新函館北斗駅経由とする予定。</p>	北都交通

新幹線駅などからの貸切バスや観光バスの運行	○現在運行している函館定期観光バスの停留所の新函館北斗駅への新設、大沼周辺や函館市内の定期観光バスルートの新設を検討中。	北都交通
	○新幹線駅からの定期観光コースを検討中。(北都交通と共同運行)	HKB
	○新函館北斗駅前広場に観光バス乗降所を設置するとともに、ツアー客、修学旅行、団体客等向けのバス駐車場(20台)を設置。	北斗市
	○函館市内の観光路線バスの点検評価とあり方について検討を実施。 H27は観光路線バス充実化事業として、バス車両の外装整備補助(ラッピング塗装)や専用バス停の新設整備補助(表示内容等グレードアップ)を実施。事業実施のためのバス事業者向け補助要綱を策定中。	北海道新幹線新函館開業対策推進機構
	○新函館北斗駅から道内主要観光地を巡りながら洞爺湖温泉、登別温泉を結ぶ観光バス運行企画を定期的に行う。 さらに、洞爺湖温泉、登別温泉から札幌への観光バス運行企画も接続の利便性を重視して定期的に行い、洞爺湖温泉・登別温泉を中継地にした函館圏と札幌圏を結ぶ観光バスを運行する。 ※新千歳空港連絡バスや丘珠空港連絡バス、函館定期観光バスなどを広く組み合わせて利便性を高めるよう検討。	北都交通
○現函館駅前等における団体ツアーバスの乗降スペース確保について検討を実施。 H27は現函館駅隣接地(通称A街区)における乗降場実証実験を4月下旬より実施。 ○新幹線開業はこだて魅力総合せミナールにおいて、観光路線バス音声案内のブラッシュアップを検討。アナウンス実験を実施(3月)し、H27のアナウンス充実化実現を目指す。4月にバス会社あて提案書を提出、事業者側で今後実施検討。	北海道新幹線新函館開業対策推進機構	
【航空機】		
函館空港―奥尻空港間の航空路線の活用	○函館―奥尻間の運航	HAC
函館空港―丘珠空港、新千歳空港の航空便の利便性向上	○函館―丘珠間の運航	HAC
	○函館―新千歳間の運航	ANA
函館空港と道東・道北エリアを直接つなぐ航空路線の開設、休止路線の運航再開	○函館から道東・道北へのチャーター便によるモニターツアーを実施し需要動向を調査するとともに、これを踏まえた新たな道内航空路線開設に対し、初期投資等を支援する事業を実施。(H27)	道
	○道内航空路線を活用した乗継による旅行商品を造成する旅行会社に対し、商品造成経費の支援を実施。(H27)	道
【タクシー】		
新幹線駅におけるタクシーサービスの充実	[新函館北斗駅南口] ○タクシープール36台分、タクシー乗場2台分、タクシー降場1台分の整備 ○タクシー会社の営業所開設(1社) [木古内駅南口] ○タクシープール3台分、タクシー乗降場1台分の整備	関係市町、道、函館地区ハイヤー協会
	○観光客への接遇向上のため、従業員接遇研修会を実施。(4/13、14の2日間で454名参加)	函館地区ハイヤー協会
新函館北斗駅から函館市内などへの定額タクシーの運行	○利用客の利便性向上のため、新函館北斗駅から函館市街や観光スポットまでの料金の明示に向けて検討中。	函館地区ハイヤー協会
	○桜回廊イベント開催時(5月)において、市内の桜名所を巡る乗合定額タクシーを試験運行。	北斗市内タクシー会社
	○定額タクシーの運行に向けた調査を実施。	道
道南の観光地を巡る観光タクシーの運行	○木古内町内を中心とした観光タクシープランをH26.7月から販売開始。	木古内町タクシー事業者
	○環駒ヶ岳エリアでの観光タクシーの運行に向け、実証運行を実施。	道
	○プランの多様性の実現に向けた課題を整理	ハイヤー協会

【レンタカー】		
新幹線駅におけるレンタカーサービスの利便性向上	○新幹線駅前へのレンタカー営業所の進出決定(新函館北斗: 7社、木古内: 2社)	関係市町、レンタカー協会、事業者
	○新幹線駅におけるレンタカー店舗の拡充と自家スタンドの併設などによる利便性の向上。	レンタカー協会 連合会
高速道路や観光地と連携した広域周遊の促進に向けた取組の実施	○レンタカー会社と、レンタカーを活用した渡島西部、檜山南部地域の観光利用促進策の展開について協議中。	新幹線木古内駅 活用推進協議会
	エリア区分なし ○レンタカーと高速道路の連携による道内全域の周遊を目的としたスタンプラリーの実施。	NEXCO東日 本北海道支社 レンタカー協会 連合会 道
【道路】		
新幹線駅と他の交通拠点や観光地等を結ぶ路線のアクセス性向上	○幹線道路ネットワークの整備促進 ・函館新外環状道路(国道278号空港道路) (函館IC-赤川IC H27.3.14開通) など	開発局
	○道道の整備 ・新函館北斗駅南口と国道227号を結ぶ渡島大野停車場線(新駅駅前通)の整備 ・新函館北斗駅北口と国道5号を結ぶ新函館北斗停車場七飯線の整備 ・木古内駅前の木古内停車場線(駅前通)の整備 ・木古内駅から木古内停車場線を通り、檜山方面に通じる江差木古内線(中央通)の整備 ・木古内から檜山方面に通じる江差木古内線の峠部における新吉堀トンネルの整備 など	道
	○木古内町内中心部道路の整備促進。	木古内町
	○七飯町峠下地区に道の駅「男爵いもパーク(仮称)」の建設を予定。	七飯町
新幹線駅周辺の道路標識の整備	○国道 ・関係機関と連携し、新幹線駅への案内標識を整備。	開発局
	○道道 ・新幹線駅周辺の道道部において、新幹線駅を案内する道路標識を整備中。	道
	○木古内町において独自に策定したサイン計画に基づき、町道標識を整備予定。	木古内町
【交通機関の連携等】		
新幹線ダイヤを踏まえた公共交通機関のダイヤ調整	○具体的な列車ダイヤが調整できた後、JR沿線駅におけるバス接続の利便性確保を考慮し、他交通事業者に情報提供していく。	JR北海道
	○新駅に乗り入れする系統の新幹線ダイヤに合わせた発着時間の調整を実施。	函館バス
公共交通機関や観光施設等の連携による広域周遊の利便性向上に向けた取組の推進	○エリア内(函館市、北斗市、七飯町、森町)のJR普通列車、バス、函館市電が2日間乗り放題となる共通乗車券「はこだて旅するパスポート」の販売(北海道新幹線新駅沿線協議会)	関係市町、観光団体、交通事業者等
	○渡島西部(4町)、檜山南部(5町)地域において、定期観光バスと路線バスが3日間乗り放題となる「江差・松前千年北海道手形」の発売	関係町、函館バス等
	○新幹線利用者の広域周遊の利便性向上に向けて取り組んでいく。具体的な内容は現在検討中。	JR北海道
	○交通ネットワーク整備に向けた広域的な課題や、取組への遅れが見られる地域の課題解決に向けた関係市町や交通事業者へのヒアリング、意見交換会の開催。	道(渡島総合振興局)
	○路面電車、バスへのICカードシステム導入を検討中。	函館市
宿泊施設や観光施設などの新幹線駅への送迎サービスの実施	○宿泊施設などから新函館北斗駅への送迎バスの運行について検討中。	宿泊施設など

【道央エリア】

検討・取組の方向性	検討・取組状況等	関係主体
【鉄道】		
新函館北斗駅と道央方面を結ぶ特急列車の利便性向上	○特急「スーパー北斗」「北斗」の具体的な輸送体系は、現在検討中。新幹線の運行体系に合わせ、接続の利便性を確保していく。	J R北海道
特急列車と接続する普通列車の利便性確保	○具体的な輸送体系は現在検討中。特急「スーパー北斗」「北斗」の運行体系に合わせ、ダイヤを検討していく。	J R北海道
【バス】		
道南と道央方面を結ぶ都市間バスの利便性向上	○道南と道央を結ぶ都市間バスについて、後志地域の市町村や観光地を経由する便の運行に向け、実証運行を実施。(H27)	道
	○新函館北斗駅から道内主要観光地を巡りながら洞爺湖温泉、登別温泉を結ぶ観光バス運行企画を定期的に行う。 さらに、洞爺湖温泉、登別温泉から札幌への観光バス運行企画も接続の利便性を重視して定期的に行い、洞爺湖温泉・登別温泉を中継地にした函館圏と札幌圏を結ぶ観光バスを運行する。 ※新千歳空港連絡バスや丘珠空港連絡バス、函館定期観光バスなどを広く組み合わせ、利便性を高めるよう検討。	北都交通
【航空機】		
函館空港－丘珠空港、新千歳空港の航空便の利便性向上	○函館－丘珠間の運航	HAC
	○函館－新千歳間の運航	ANA
【レンタカー】		
新幹線利用者を対象とする割引サービスの導入など利便性の向上	○レンタカー料金のキャンペーン価格の検討	レンタカー協会 連合会
高速道路や観光地と連携した広域周遊の促進に向けた取組の実施	○函館でレンタカーを借り、後志管内のチェックポイントをまわり、後志管内の宿泊施設に泊まってもらうモニター事業を実施。	道（後志総合振興局）
	エリア区分なし ○レンタカーと高速道路の連携による道内全域の周遊を目的としたスタンプラリーの実施。	レンタカー協会 連合会 NEXCO東日本 北海道支社 道
【交通機関の連携等】		
公共交通機関や観光施設等の連携による広域周遊の利便性向上に向けた取組の推進	○新幹線利用者の広域周遊の利便性向上に向けて取り組んでいく。具体的な内容は現在検討中。	J R北海道
エリア内の鉄道駅や空港から主要な都市や観光施設へのアクセス利便性向上に向けた取組の推進	○新幹線来道者の地域内周遊促進策としての周遊バスや観光タクシーの運行に向けて、後志エリア及び南空知エリアにおいて実証運行を実施。	道
	○道央自動車道砂川S AスマートICの設置 (H27.8.8 開通)	砂川市、NEXCO東日本
交通機関自体の観光魅力の向上	○観光施策と連携した魅力ある交通機関の創出可能性について、調査事業を実施。(H26～27)	道
	○渡島管内と胆振管内を遊覧船で結ぶ「噴火湾横断観光ルート」の実証実験を実施。(新函館北斗駅から森港までをバス、森港から室蘭港までを遊覧船で結び移動時間の短縮と新幹線利用者を胆振・日高管内に誘導)	北海道新幹線×nittann地域戦略会議
主要都市、観光地等を結ぶ広域的な交通ネットワークの整備等による広範囲な周遊と観光地へのアクセス性向上	○幹線道路ネットワークの整備促進	開発局
自動車利用者のエリア内周遊の促進	○登別洞爺広域観光圏内周遊促進のためのツールの整備。	北海道登別洞爺広域観光圏協議会

【道東・道北エリア】

検討・取組の方向性	検討・取組状況等	関係主体
【航空機】		
既存航空路線の活用（丘珠空港・新千歳空港での乗継便など）	○丘珠―釧路間、丘珠―利尻間の運航	HAC
	○新千歳―稚内間、新千歳―釧路間、新千歳―中標津間、新千歳―女満別間、新千歳―利尻間（夏期）の運航	ANA
	○新千歳―女満別間の運航	JAL
	○7日間乗継可能な割安運賃の設定（函館―丘珠―釧路、函館―丘珠―利尻）	HAC
	○乗継割引運賃の設定（函館―新千歳―釧路、函館―新千歳―利尻）	ANA
	○函館―丘珠―釧路間の乗継便を利用した新規需要の掘り起こしを目的とした低価格でのツアー商品造成等（国の地方航空路線活性化プログラムを活用）	釧路空港利用整備促進期成会
	○道内航空路線を活用した乗継による旅行商品を造成する旅行会社に対し、商品造成経費の支援を実施。（H27）	道
函館空港とエリア内空港とを直接つなぐ新たな航空路線の開設、休止路線の運航再開	○函館から道東・道北へのチャーター便によるモニターツアーを実施し需要動向を調査するとともに、これを踏まえた新たな道内航空路線開設に対し、初期投資等の経費の一部を支援する事業を実施。（H27）	道
道外航空路線の充実	○道内地方空港への国内（道外）路線の開設にかかる初期投資やPR経費の一部を支援する事業を実施。（H27）	道
【鉄道】		
乗継利便の確保などによる、道央エリアと道東・道北方面を結ぶ特急列車の利便性確保	○具体的な輸送体系は、現在検討中。各方面の特急列車の運行体系見直しに合わせ、ダイヤを検討していく。	JR北海道
【バス】		
道央エリアと道東・道北方面を結ぶ都市間高速バスの利便性確保	○札幌―留萌・羽幌・豊富間を運行しており、繁忙期は予約状況に応じて続行便を運行する予定。	沿岸バス
【レンタカー】		
新幹線利用者を対象とする割引サービスの導入など利便性の向上	○レンタカー料金のキャンペーン価格の検討	レンタカー協会 連合会
高速道路や観光地と連携した広域周遊の促進に向けた取組の実施	エリア区分なし ○レンタカーと高速道路の連携による道内全域の周遊を目的としたスタンプラリーの実施。	レンタカー協会 連合会 NEXCO東日本 北海道支社 道
【交通機関の連携等】		
公共交通機関や観光施設等の連携による広域周遊の利便性向上に向けた取組の推進	○新幹線利用者の広域周遊の利便性向上に向けて取り組んでいく。具体的な内容は現在検討中。	JR北海道
	○帯広駅～広尾～えりも～様似間の乗り放題切符を発売中。	十勝バス、JR北海道バス
	○フェリー会社と連携した広域周遊券を設定。他事業者からも依頼があれば検討したい。	沿岸バス
	○フェリー、バス、利札、稚内が共同した周遊きっぷ（島めぐり手形（仮称））の造成。	関係市町、関係団体
	○「稚内／利尻／礼文周遊観光・カセット型商品」の造成（フェリーとバスのセット販売（カセット化）及び貸切バス効率化のための複数旅行会社が混乗する周遊観光商品の造成。）	北宗谷広域観光協議会
エリア内の鉄道駅や空港から主要な都市や観光施設へのアクセス利便性向上に向けた取組の推進	○十勝管内主要観光施設を結ぶ駅や空港発着のバスプラン、タクシープランを提供し、二次交通の利便性向上を図っている。	十勝圏二次交通活性化推進協議会
	○十勝管内において、路線バスで観光地に気軽に行ける観光アプリを開発中であり、目的地検索サービス「もくいくう～」との連動を図っている。	
	○道北（留萌・宗谷管内）の自社エリア内の指定路線が乗り放題となる広域周遊切符を設定済み。（札幌・旭川・稚内のバス事業者にも販売を委託）	沿岸バス

	○高速バスと羽幌天売航路を接続するシャトルバスを運行中。	沿岸バス
	○平成 27 年度内に、高速バスと路線バスの乗継を強化し、札幌から留萌乗り継ぎで増毛地区の周遊利便を向上させるべく検討中。	沿岸バス
	○国の地方航空路線活性化プログラムを活用し、以下の取組を実施。 ・釧路空港から釧路市街までの路線バス運賃割引 ・釧路空港からのレンタカー利用料金割引 ・丘珠空港から札幌市街までの路線バス運賃割引	釧路空港利用整備促進期成会
	○観光案内における乗務員の対応力の向上。 ○インターネット等を利用した観光情報の提供。	釧根地区ハイヤー協会
主要都市、観光地等を結ぶ広域的な交通ネットワークの整備等による広範囲な周遊と観光地へのアクセス性向上	○幹線道路ネットワークの整備促進	開発局

【津軽海峡エリア】

検討・取組の方向性	検討・取組状況等	関係主体
【交通機関の連携等】		
鉄道、バス、路面電車、フェリーなどによる津軽海峡エリアにおける周遊利便性の向上	○道南及び青森県の周遊を促進するため、既存のフリーパスの一体的な販売戦略の検討、PR資材の制作を行い、効果的なプロモーションを展開。	道、関係市町、関係事業者等

② 情報提供機能の整備

検討・取組の方向性	検討・取組状況等	関係主体
新幹線駅における案内表示等の充実	○駅舎周辺鳥瞰図を設置。 ○新函館北斗駅及び木古内駅において、利用者に分かりやすい案内方法を検討していく。具体的な表示内容は現在検討中。	J R北海道
	○出口、出札、乗り場、トイレ案内など旅客の誘導に係る各種サインを設置。駅舎内床に誘導・警告タイルを設置するとともに、音声触知図式案内板を設置。	鉄道・運輸機構
	○鉄道・運輸機構側施設との整合性を図るべく、北斗市観光交流センター内に動線・案内表示を設置する方向で、鉄道・運輸機構やJ R北海道と協議中。	北斗市
	○今後、関係機関と協議を行う。	木古内町
新幹線駅等からの交通ネットワークに関する情報の入手環境の充実	○観光案内所において、インターネットやPCを活用しオンタイムで交通情報を提供するとともに、案内所内に各交通機関の時刻表などを見やすく表示。 ○観光案内所において、観光情報のほか二次交通に関する情報など総合的な情報提供を実施。	北斗市
	○木古内駅南口に建設する観光交流センター内で、道の駅の情報端末や新幹線の運行情報を案内する電光掲示板の設置を検討中。	木古内町
	○高速道路の通行止や速度規制等の交通情報について、(公財)日本道路交通情報センターのHPにより、お客さまへ情報提供中(5分毎に更新)。	NEXCO東日本北海道支社
	○道内の交通ネットワークの整備状況などを踏まえながら、HPやマップにより新幹線駅等からの道内交通ネットワークの情報発信機能を整備する。(H27)	道
	○インターネットによる公共交通経路検索サービスにできるだけ多くの道内路線バスの情報が反映されるよう、路線バスを運行するバス会社やコンテンツプロバイダ(経路検索サイト運営主体)への働きかけを実施中。	道
	○檜山エリアの新幹線二次交通であるバスに関する情報(バス路線図、距離、所要時間、金額等)をマップ形式で紹介する「～路線バスでめぐるひやまの旅～檜山周遊」を作成。	道(檜山振興局)
	○函館市内の路面電車や観光路線バスなどの二次交通を利用して観光する際に必要な情報を一元化したガイドマップを作成予定。7/14に先進地八戸市視察を予定。	北海道新幹線新函館開業対策推進機構

	<p>○自社ウェブサイトにおいて、鉄道やバス、フェリー等他の公共交通機関の情報リンクを掲載。</p> <p>○乗換案内ツールを通じた他公共交通機関を組み合わせた乗換情報の配信。</p> <p>○ソーシャルネットワークを通じ、沿線の観光情報や路線バス、離島航路の運行情報を配信中。</p>	沿岸バス
	<p>○現函館駅での分かりやすい公共交通案内版・モニター（目的地別バス・電車案内）の設置検討。5月総会で事業計画承認。新幹線開業に設置が間に合うよう関係機関と協議を開始。</p>	函館商工会議所
	<p>○NEXCO東日本が発行する「北海道ドライブマップ」における地域情報・交通安全情報の発信。</p> <p>○道外イベントの参画による北海道の地域情報や北海道の高速道路情報のPR。</p>	NEXCO東日本北海道支社
レンタカー利用者が高速道路を利用して広く道内を周遊できるような効果的な情報発信の取組	<p>○全道のネットワークサービスを各社HPで情報提供し、キャンペーン企画をPR</p>	レンタカー協会 連合会